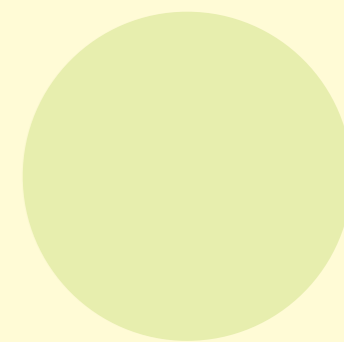


↓ 食品科学教育協議会正会員

北海道・東北地区			
青森中央短期大学	〒030-0132 青森県青森市横内字神田12	TEL.017-728-0121	FAX.017-738-8333
札幌科学技術専門学校	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西17丁目1-22	TEL.011-631-8811	FAX.011-613-0601
柴田学園大学	〒036-8530 青森県弘前市清原1-1-16	TEL.0172-33-2289	FAX.0172-33-2486
柴田学園大学短期大学部	〒036-8503 青森県弘前市上瓦町25	TEL.0172-32-6151	FAX.0172-32-6153
桜の聖母短期大学	〒960-8585 福島県福島市花園町3-6	TEL.024-534-7137	FAX.024-531-2320
東北生活文化大学短期大学部	〒981-8007 宮城県仙台市泉区虹の丘1-18-2	TEL.022-272-7511	FAX.022-301-5602
関東・東海地区			
東京聖栄大学	〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩1-4-6	TEL.03-3692-0211	FAX.03-3692-0213
静岡英和学院大学短期大学部	〒422-8545 静岡県静岡市駿河区池田1769番地	TEL.054-261-9201	FAX.054-263-4763
人間総合科学大学	〒339-8539 埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288	TEL.048-749-6111	FAX.048-749-6110
日本獣医生命科学大学	〒180-0023 東京都武蔵野市境南町一丁目7番1号	TEL.0422-31-4151	FAX.0422-33-2094
十文字学園女子大学	〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28	TEL.048-477-0555	FAX.048-478-9367
東海学園大学	〒468-8514 愛知県名古屋市天白区中平2-901	TEL.052-801-1201	FAX.052-804-1044
近畿地区			
大阪青山大学	〒562-8580 大阪府箕面市新稲2-11-1	TEL.072-722-4165	FAX.072-722-5190
東大阪大学短期大学部	〒577-8567 大阪府東大阪市西堤学園町3-1-1	TEL.06-6782-2884	FAX.06-6782-1277
東洋食品工業短期大学	〒666-0026 兵庫県川西市南花屋敷4-23-2	TEL.072-759-4221	FAX.072-758-6959
甲子園大学	〒665-0006 兵庫県宝塚市紅葉ガ丘10-1	TEL.0797-87-5111	FAX.0797-87-5666
中国・四国地区			
四国大学短期大学部	〒771-1192 徳島県徳島市応神町古川123-1	TEL.088-665-1300	FAX.088-665-8037
徳島文理大学短期大学部	〒770-8514 徳島県徳島市山城町西浜傍示180	TEL.088-602-8000	FAX.088-622-3217
香川短期大学	〒769-0201 香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁10	TEL.0877-49-5500	FAX.0877-49-5252
山陽女子短期大学	〒738-8504 広島県廿日市市佐方本町1-1	TEL.0829-32-0909	FAX.0829-32-0981
比治山大学	〒732-8509 広島県広島市東区牛田新町4-1-1	TEL.082-229-0121	FAX.082-229-8933
九州地区			
鹿児島純心女子短期大学	〒890-8525 鹿児島県鹿児島市唐湊4-22-1	TEL.099-253-2677	FAX.099-254-5247
鹿児島純心大学	〒895-0011 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365	TEL.0996-23-5311	FAX.0996-23-5030
別府大学	〒874-8501 大分県別府市北石垣82	TEL.0977-66-9630	FAX.0977-66-9631
東海大学	〒862-8652 熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1	TEL.096-382-1141	FAX.096-386-2616
九州産業大学	〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1	TEL.092-673-5653	FAX.092-673-5092
尚綱大学短期大学部	〒862-8678 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6-78	TEL.096-362-2011	FAX.096-363-2975
尚綱大学	〒862-8678 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6-78	TEL.096-362-2011	FAX.096-363-2975
賛助会員			
(株)大阪生物環境科学研究所	〒567-0851 大阪府茨木市真砂3丁目4-30	TEL.072-638-6553	FAX.072-638-3314
三和酒類株式会社	〒879-0495 大分県宇佐市山本2231-1	TEL.0978-33-3844	FAX.0978-33-5811

# フードサイエンティストのご案内



## 食品科学教育協議会

Association of Food Science Education in Japan (AFSE)

### 食品科学教育協議会事務局

〒567-0851 大阪府茨木市真砂3丁目4-30  
 TEL.072-638-6553 FAX.072-638-3314  
 E-mail : info@shokuka.jp URL : http://shokuka.jp/





食品科学教育協会会長  
農学博士

筒井 知巳

食品科学教育協会は、大学、短期大学、専門学校において、食品学や食品微生物学を学習する学生の教育についての問題点を検討するために、食品科学、食品微生物学、食品衛生学の教育に関する教員が集まって、1980年12月に発足いたしました。

本協会では、各学校で本協会が定める食品、微生物に関する特定の講義や、実験実習、認定研修を受講した学生を審査し、合格した学生に対して、「食品科学技術認定証」を授与し、フードサイエンティストと称することを認めています。

また協会では定期的に例会・研究会・講演会を開催し、その成果を会報、又は会誌に掲載・刊行しています。この活動は、教育・学術の両分野で高く評価されております。

また食品関連会社関連のさまざまな講師から、職場の現状を学生たちに話していただき食品業界について理解を深めてもらうような教育も行っております。

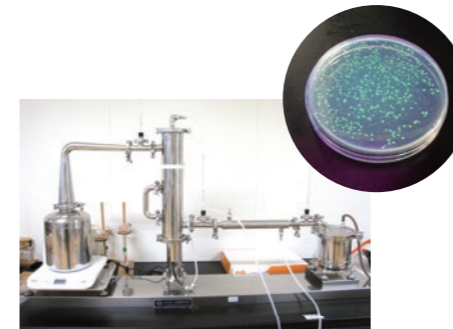
本協会が発足してから食品科学技術認定証を取得し、フードサイエンティストとして食品関連業界に巣立っていった学生の数は2万人を超えています。この人たちが現場や職場でフードサイエンティストとして活躍していることは、協会として誠に心強いことでもあります。

当協会の趣旨に賛同いただいている個人会員、賛助会員より温かい支援をいただいていることを深く感謝いたします。



フードサイエンティストになるには

フードサイエンティストになるためには、本協会が承認した正会員大学・短期大学・専門学校で、指定された教科・単位を含めて修得・卒業し、食品科学技術認定証を取得することが必要です。これは正会員大学・短期大学のカリキュラムの一例で、S短期大学の特徴がよく出ています。



食品科学技術認定証取得のために必要な履修教科と単位数の例 (S短大)

協議会規定教科分野	授業形式	必修単位	開講科目・講義・実験	単 位
基本必修科目	講 義	(6)	食品学総論 食品学各論	2
		4		
	実験・実習	2	食品学総論実験 食品学各論実験	1
		1	1	
食品微生物学分野	講 義	(5)	応用微生物学 食品衛生学	2
		4		
	実験・実習	1	食品衛生学実験	1
小 計			小 計	11
特別研修	講 義	(9)	食品加工貯蔵学 生化学	2
		4		
	実験・実習・演習	5	食品加工学実習 応用微生物学実験 調理学実験	1
		1	1	
卒業研究	2	2		
小 計		9	小 計	9
合 計		20	合 計	20
資格認定研修	講習会・研究会・講演会などに参加			

フードサイエンティスト資格をあなたに

経済の成長とともに、私たちのライフスタイルも大きく変化し、「食」のスタイルもかつての形とは様変わりしました。家庭での調理・食事の外部化が進み、調理パンから弁当惣菜、インスタント食品、チルド食品、レトルト食品そして冷凍食品と数えきれないほどの多くの食品が加工され、販売され、消費されています。

この増大する加工食品の需要を満たし、それらの一品一品の品質、栄養成分、衛生的安全性を保つ必要から、食品工場の大規模化、HACCPなど衛生管理の徹底が図られています。特に最近では輸入野菜の残留農薬の問題、食品偽造問題等で「食の安全」が再認識され、また機能性食品が注目されていますが、「食」に関わる人々が最も心に留めておくべき事は「食の安全性・機能性」であろうかと思えます。これらを見極めるための研鑽を常として、多様化する食産業に対応していかなければなりません。

食品科学教育協会では、この複雑な食品産業界の要望に応えられる人材の養成を目指し、大学・短期大学・専門学校・食品関連企業・卒業生が一体となって努力しています。

食品業界では「食」についてひらめきを持つ人材を必要としております。あなたも在学中に「食品のノウハウ」を学んだ証として、「食品科学技術認定証」を取得し、「フードサイエンティスト」として「食品業界」で活躍してみませんか。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ フードサイエンティストからの職場だより ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

フードサイエンティストと食品開発



花太刀食品工業(株)勤務  
西河 優希

私は、短期大学の2年間で食品科学技術認定証の資格を得ることが出来ました。今は、フードサイエンティストとして食品開発の場で働いています。開発では、消費者の嗜好から食品科学の基礎的なことまで、さまざま知識が必要となります。現場で学ぶことが多々ありますが、資格を取るために勉強してきたことも知識のひとつとなっていると考えます。

今はまだ、フードサイエンティストとしても幼い私ですが、食品科学技術認定を取るためにしてきた勉強を活かし、ひらめきを持って食品を開発していけるよう、日々精進しています。

専門技術を世界に!



(有) 糘屋本店勤務  
スリヤナヤカ ニランタ

私はスリランカからの留学生で、留学中に大分県佐伯市の糘屋本店(塩麴を世に流行させたことで有名)の10代目麴師と出会い、「麴」という日本独特の発酵食品文化に魅了されました。そこで食品に関する専門的な知識と技術を得るために、大学でフードサイエンティストの資格を取得しました。現在は糘屋本店でフードサイエンティストとして、塩麴の製造を行っています。発酵食品は生き物なので製造に苦勞も多いのですが、安全安心の商品を安定してお客様に提供できるよう日々努力しています。将来は母国で発酵食品の会社を起業したいと考えています。日本独自の糘文化を世界に発信していきたいです。

製造部門での経験を活かして



野田ハニー食品工業(株)  
田中 宏伸

短大で学ぶうちに食品の機能性に興味を持ち、食品に携わる仕事がしたいと思うようになりました。在学中に食品化学技術認定証を取得し、その結果、食品企業に就職するという夢を叶えることができました。現在は製造部で仕事をしており、仕事内容は主にジャムやマーマレード、ドレッシングなどの製造です。原料で重いものを運んだり、夏は製造の関係で工場内が暑くなったりと、体力的に大変な部分が多いですが、その分作った製品が商品としてできたときに喜びややりがいを感じます。工場では何千本と製造されますが、製造から仕上げまで、従業員全員が1つ1つお客様の元に届くことを考え仕事に取り組んでいます。来年からは、いよいよ品質管理と商品開発を行う部門へ移動することになり、わくわくしています。製造部門での経験を品質管理や商品開発に活かせるよう今後も勉強していきたいです。